



Vol.23 新春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



「ホワイトイルミネーションとやま」で華やかに彩られた城趾大通り 市庁舎前

迎春

「ホワイトイルミネーションとやま」は、冬の富山を、心暖かく、明るく楽しく過ごそうと昭和61年から始められた「とやまスノーピアード」の一環として行われています。

“ひとり一灯運動”でみんなのあったかいハートが灯りをともし、JR富山駅前から城趾大通りにかけて1,300mにわたり小さくやさしい4,000灯で街路樹は光のオブジェとかがやきます。
(期間は12月1日から2月14日まで)

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

国際交流フェスティバル'98

1998年10月10日(祝)・11日(日)

富山市民プラザ&大手モール(市民プラザ前)



小川弘実行委員長の開催挨拶で「国際交流フェスティバル'98」が始まりました。このフェスティバルでは県内の国際交流・協力団体や在住外国人が一堂に会し、展示や発表、各国芸能披露、食文化交流などを通して、国際交流・協力活動の情報を広く提供しました。

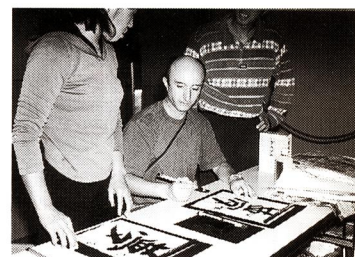


ステーション

10月10日(土)

時間	公演名	出演団体名(主催)
13:00	オープニング	
13:15	外国人カラオケ大会	富山県内在住外国人
15:00	太極拳剣	陳建強と秀麗英姿 (富山県日中友好協会)
16:00	和太鼓	しんきろう太鼓

話そう



体験しよう

歌おう



フェスティバル'98



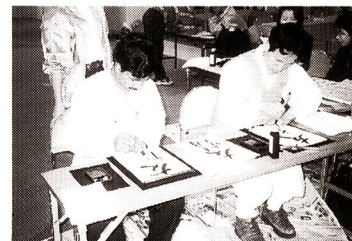
特別企画

- ◆国際電話体験コーナー
協力：日本テレコム
- ◆世界のお茶試飲コーナー
協力：富山・中国ネットワーク
- ◆民族衣装試着&記念撮影コーナー

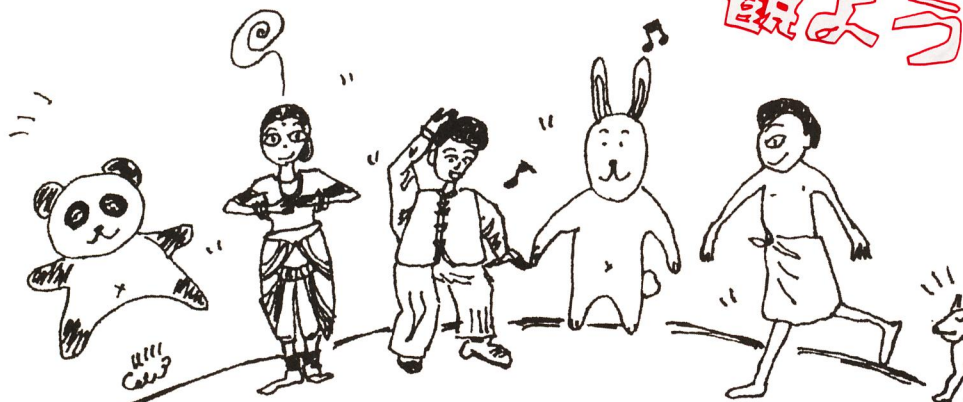


10月11日(日)

時間	公演名	出演団体名(主催)
10:00	ヒップホップダンス	シューティングスター
10:30	韓国の歌	富山市民国際交流協会 ハングル教室
11:30	モダンバレエ	中川立子モダンバレエ 研究所
13:00	ヒップホップダンス	シューティングスター
13:30	食と国際協力フォーラム	
15:00	韓国伝統芸能	韓国・光州芸術高等学校 (富山県日韓親善協会)



観よう



遊ぼう



踊ろう



活動紹介パネルや
パンフレットの展示、
物産品販売、試飲試食コーナー、
チャリティー・バザーのほか
一緒に遊びましょうなど23の
ブースが並びました。

食べよう



ブース

ウィメンズ・ウィングス・トヤマ
日独友好会富山
富山市日中友好協会
日本ロシア協会富山県支部
富山日豪ニュージランド協会
アジア子供の夢
富山・中国ネットワーク
アジアの仲間たちの会
とやま国際理解教育研究会
オイスカ富山県フレディース
言語交流研究所ヒップファミリークラブ
富山県日韓親善協会
ナセル・オープンアジア日本協会富山支部
青年海外協力隊富山県OB会
富山県青年海外協力隊を育てる会
AJA FOUNDATION
富山市翼の会
(財)とやま国際センター
フィリピンの孤児を支える会
国際協力事業団北陸支部
富山医科薬科大学留学生会
富山大学マレーシア留学生協会
富山市民国際交流協会
国際ソロプチミスト富山(10日のみ)

2階 アトリウム

常設

- パネル展示コーナー
食と国際協力パネル展
国際交流・協力団体活動紹介パネル展
「守る地球の宝物・世界文化遺産」パネル展、＜富山ユネスコ協会＞
- 日本の文化体験コーナー
お茶、書道、琴など
- 世界の遊び体験コーナー（留学生や在住外国人も教えてください）
【韓国】ユニバ（木製すごろく）
【ベトナム】羽根けり
【マラウイ共和国】BAWO（バオ：木製盤ゲーム）
【マレーシア】セバタクロ（蹴まり）
【アルゼンチン】アルゼンチンを体験（11日）
【中国】跳棋（盤ゲーム） など

10日

16:00～ テノール&ピアノのコンサート＜日独友好会＞

11日

17:00～ 国際食文化交流会（各国料理によるサヨナラ・パーティー）

3階 AVスタジオ

「世界野生生物フィルム」上映会＜ジャパンワイルドライフフェスティバル実行委員会＞
韓国観光紹介ビデオ上映＜富山県日韓親善協会、韓国観光公社＞

3階 マルチスタジオ

10日

13:15～14:00 ドイツ文化紹介スライド＜日独友好会＞

14:00～15:30 国際ボランティア入門ワークショップ
＜富山市民国際交流協会、国際協力事業団北陸支部＞

11日

10:00～12:00 貿易ゲーム＜とやま国際理解教育研究会＞
途上国や先進国の立場を体験します

14:00～15:00 ドイツ文化紹介スライド

日本の文化体験コーナーにて

ナリニー坂本さん（タイ出身）

ボランティアの人たちに着物を着せてもらっておおよろこびのナリニーさんは、なれない日本語で一生けんめい話してくれました。

「きれいな着物姿の自分を見て大変うれしい。主人やおかあさんやKUN MA（お母さん）、KUN PO（お父さん）に見せたい。たくさん、たくさん写真を撮って下さい。私はタイで出会った主人（秋田県）と6年前に結婚しました。坂本のお母さんに『タイへ里帰りの時はこの着物を着なさい』と作っていただきましたが練習しても着物を着ることが出来なかった。今日はきれいに着せてもらって大変うれしい。ありがとうございます。これから、国際交流にたくさん参加していきたい」と。



委員会活動報告

草の根で結ぶ世界と庄内 「庄内国際交流協会」に学ぶ！

国内研修 11月22日(日)～23日(祝)



富山市民国際交流協会が設立して5年が経過しました。協会の活動にあたり改善すべきことも多くあり今回は、全国の国際交流団体との交流も活発に行われている「庄内国際交流協会」を訪ね勉強してきました。

意見交換では

- ・理事の選任や活動について
- ・委員会の名称や活動の連携や広報活動について
- ・若年会員の委員会活動推進について
- ・留学生や在住外国人の協会加入促進は、協会・委員活動を活発にし国際理解・国際協調を推進するために非常に重要である

など、多くのことに理解を深めました。

この研修会で学んだこれらのことを参考にして協会の発展に頑張っていきたいと思います。

今回の国内研修は、会員たち21名が参加しました。ちょっと長距離のバス旅行でしたが、夕映えの「出羽富士」(鳥海山)とその裾野にひろがる遥かな日本海、そして、まっ白に雪化粧した庄内平野に迎えられて、庄内藩・酒井氏ゆかりの「致道博物館」や曹洞宗の名刹「善宝寺」など城下町・鶴岡市の歴史も訪ねて来ました。

出羽庄内国際村とアマゾン民族館

◇庄内国際交流協会

庄内国際青年祭をきっかけに1987年に設立、地域に根ざした国際交流をめざしております。庄内地域で国際交流に活躍する人たちのための「出羽庄内国際村」が1994年鶴岡市に完成し、協会活動の拠点として利用するとともに他の国際交流団体とも連携しながら全国の国際交流団体との交流も活発に行われています。

◇ばんどり交流…主な活動

- ・庄内国際青年祭 毎年、夏に開催し地元の青年と留学生や研修生との交流を図る
- ・タイ ジュニア大使 タイの福祉施設「子供の村学園」へ高校生を中心としたジュニア民間大使を毎年、夏休みの期間に派遣し、タイの孤児達と交流する。
- ・日本語講座 庄内在住の留学生や外国人花嫁さん達の日本語教室を開催。
- ・国際交流シンポジウム
- ・国際交流亭
- ・海外の福祉施設へ衣類、文房具、楽器、カレンダー等の発送



鶴岡市国際交流センターのアマゾン民族館(鶴岡市国際民族資料館)にはアマゾンの他に山口館長(庄内国際交流協会会長…文化人類学研究者 山口吉彦)が調査と資料収集したニューギニア島の貴重な民族資料が展示してあります

総務企画委員会

中国語講座

中国の人たちと日常会話ができるように、中国日常会話入門と初級クラスを開講しています。

中国の人たちとの実践会話の場を設けたり、実用中国語検定試験に挑戦するなど、国際交流に貢献できるよう努力をしています。



中国料理を囲んで中国語会話を楽しむ

日本語教育内容研修クラス

日本語教員になるための研修を重点に、指導上の問題点などについて話し合ったり研修したことを実践す



「'98夏季短期日本語講座」受講生

るために「夏季短期日本語講座」を開催しています。

国際教養委員会

日本伝統文化の紹介



茶 道

10月25日
当センター

講師
亀田文子さん

富山在住のインドネシア、インド、中国、タイの人たち40数人が参加しました。はじめに「茶の湯」の歴史や伝統的な儀式の様式などについて紹介のあと講師のお点前でお菓子とお茶をいただきました。参加者から実際にお点前を習いながら「茶道というのは、ふうにお茶を飲むのとどう違うのですか？」と質問があり「飲むまでの点前と呼ばれる様々な所作をいかに美しくおこない、目いっぱい客をもてなす心配りを、客もまた理解するというホストとゲストの心の交流です」と講師の説明がありました。「Tea Ceremony は、スバラシイ交流ですね」。



華 道

11月15日
当センター

講師
堀田順子さん

富山在住の中国、タイ、ロシア、アルゼンチン、エジプトの人など約40人が参加して、エニシダと菊の花を使って生け花に挑戦しました。生花を挿すことや、形や空間などのバランス、慣習による感覚の違いなどを興味深く習いながら、悪戦苦闘して完成した自分の作品を満足そうに楽しんでいました。



餅つき

12月20日
当センター



大正琴

講師
常清幸雄さん



大正琴に合わせて「北国の春」をみんなで歌ったりした後は、ボランティアの人たちから説明や手助けを受けながら順番を待って杵を振るって餅をつきました。あんこもちやきなこもちに「オイシイデス！」と今年最後の交流会を楽しみました。

地域交流委員会

国際ボランティア入門講座

— あなたのできるボランティア探し —

国際ボランティアや国際協力に関心がありながら、何から始めていいのかわからない人たちのために、活動を始めるきっかけ作りとして、様々なボランティア活動の紹介や、その在り方について考える4回シリーズ講座です。

第1回

- ・10月10日 市民プラザ マルチスタジオ
- ・協力 青年海外協力隊OB

「協力隊への参加をきっかけに国際協力への意識が高まった」という経験談をスライドで紹介。またクイズも楽しみながら、自分にできることから気軽にボランティアを始めることが第一歩であると学んだ。

第2回

- ・11月8日 当センター
- ・協力 とやま国際理解教育研究会

国際ボランティアに対する遠いイメージを自分の周りを見直すことによって、海外と自分達がどのようにつながっているのか知る疑似体験（ゲーム）を通して今までと違う視点をもつことを学んだ。



11月8日
第2回
国際ボラン
ティア入門
講座

ボランティア委員会

星日文化協会の「ロクさん」来富

シンガポール日本文化協会の陸 漢威さんは、1999年5月に予定されている「訪日親善使節団」派遣の準備のため来富されました。



10月30日
以前から交流
のある吉友当
協会副会長と
ロクさん

秦皇島市友好訪問団の解団式

9月15日から～中国7泊8日の旅～を無事終えた一行は11月11日解団しました。写真やビデオを見ながら思い出話もたのしくはずみ、研修の記録書も出来上がり協会に備えつけてあります。

姉妹・友好都市委員会

交流あれこれ

各国からみる ジェンダー問題

W.W.T (ウイメンズ・ウイング・トヤマ) は、アジアの各国の日常生活の中のジェンダーを考える女性問題講座を開催しました。

パネリストは富山大学留学生 ムハマド ユスフ エフエンディさん (インドネシア)、権 五勲さん (韓国)、蔣 立清さん (中国)、そしてコーディネーターは吉友嘉久子さん (当協会副会長)。それぞれの出身国の特徴や自分の育った家庭や身近なこと、そして、ジェンダーに対する考え方やトークをとおしていろいろな国情も知ることが出来ました。

なかでもムハマドさんの話した “Behind the great people, there are the greatest women (mothers)” という言葉からいろいろな意見が出たり、フリートークでは会場からも参加してディスカッションが行われ “女らしく男らしく” ではなく “人間が人間らしく” あるように人間味のある質の高い生き方をめざしましょう」と一緒に考えました。

※ジェンダー (gender) : 生物学的な性差ではなく、社会的、文化的につくり上げられた性別のこと



10月31日 富山市女性交流センター

ホストファミリーが とやまへ!

会員 奥村裕子さん

「第1回富山市女性の翼」に参加して、メルボルンでホームステイをしたとき お世話になったホストファミリーのエリオット夫妻が来日され、我家でホームステイをされました。立山や八尾町を案内したりして旧交を温めました。



中国での中学生のホームステイ

9月から10月にかけて、中学生を引率して、中国秦皇島市を訪問する機会を得た。富山市の中学生が友好都市である秦皇島市を訪問するのは12回目であるが、今回初めて、ホームステイを採り入れた。そして、訪問した第2中学校では英語や美術の授業も受け、本当に実質的な交流が行われるようになった。

とくに、当初不安がっていた3泊4日のホームステイは、終わってみると何か一回り大きくなったような感じを受けるほどに生徒たちを成長させたようだった。そして、彼らの曰く、「言葉の壁」は相手を思いやる気持ちと理解しようという気持ちさえあれば何とかなる、であった。因みに彼らのコミュニケーションの手段は英語と漢字の筆談であった。彼らは中にはこの数日間で生涯の知己を得た者もいた。このような積み重ねが本当の国際理解を実現させるのだらうと思った。

(芝園中学 廣田憲一校長記)

外国人お嫁さん交流会 お正月には手作りおせち料理を

当協会ボランティア委員会では、日本の男性と結婚した人、家族で富山に生活している人など外国のお嫁さん達に “おせち料理で日本のお正月を迎えられるように” と簡単なお正月料理の講習会をしました。

黒豆、きんぴらごぼう、べっこう、酢の物 (なます)、れんこんの梅あえ、お煮メなどおいしそうに出来上がった料理を「おせち料理のいわれ」を聞きながら一足早いお正月を味わいました。



12月4日 エルフにて

女性の翼…北欧へ

第7回富山市女性海外派遣団は、10月7日から17日までの11日間にわたりデンマーク・スウェーデンを訪問しました。

デンマークでは、2泊3日のホームステイを体験しながら交流しました。スウェーデンではストックホルム市インゲビック市長を表敬訪問、エルスタ老人福祉施設や労働市場省男女平等課、環境保護局などの訪問、また女性団体との意見交換を通してスウェーデンにおける進んだ福祉、女性、環境問題などについて見聞を広めてきました。



De syv familier fra Farum blev en stor oplevelse rigere, da de efter at have huset to japanere over weekenden, blev inviteret til japansk aften på Hotel Phoenix. Privatfoto.

10月20日地方紙「Farum Avis」に掲載された「茶道で交流交換」

※ 1月22日(金)～29日(金)まで、市役所多目的コーナーで報告展開催。



11月8日 富大留学生会館

留学生のための生活応援

ボランティアグループ T.H.H (トヤマハンドインハンド) の行っているチャリティーバザーは、もう14回を迎えました。秋晴れのバザー広場は、あちこちで交流を楽しんだり向寒用の衣類や布団を選んだり、また、茶わんや家庭用品を買ったりと大勢の留学生や家族たちでにぎわいました。

「マシソヨ」(おいしいです)



韓国伝統料理講座

10月24日
県民会館

富山県日韓親善協会では、韓国料理を広く知ってもらい食文化を通して交流の輪を広げようと講座を開催しました。カクトゥギ(大根キムチ)、ペジュスクジャングァ(ホタテ醤油煮)、ヘムルチデミ(海鮮チヂミ)、ソコギチケ(牛チゲ)等を手際よく丁寧に指導してもらって出来上がった料理をみんなで「マシソヨ」…。

「北東アジア地域自治体会議'98」

国を超えた交流を！

国際組織「北東アジア地域自治体連合会」は、2年前に設立され今回からモンゴルも加わって5か国(韓国、ロシア、中国、モンゴル、日本)となりました。10月20日から4日間富山市で開催された会議では、環日本海地域の自治体が交流・協力ネットワークを形成し、地域全体の発展と世界平和をめざすさらなる交流を確認しました。

会議終了後、国別交流会があり富山モンゴル親善協会、今回から新たに参加したモンゴル代表団と交流夕食会で友好親善しました。



10月22日
県立富山高校留学生エネビシエさんもゴンビーン・ダシレンツェン副知事と並んで

エネちゃん ホームシックは!!



ようこそ 富山へ
モンゴルよりエネビシさん
歓迎会

楽しい思い出たくさん作ってね

富山高校に通うモンゴルのドグスポルド・エネビシさん(ナセル・オープンドア日本協会、交換留学生)を応援する仲間たちは歓迎交流会をしました。

エネちゃんは、もう、制服も似合い友達もたくさん出来て教養講座の時間に「モンゴルの自然と生活」について発表しました。食べ物や学校生活の質問があったとたのしそうに話してくれました。

～您好～

董 紅媛 です

私は、中国の大学で日本経済を専攻し、日本語と経済学を勉強して秦皇島市外事弁公室で日本語通訳をしております。

今回、友好都市研修生として平成10年9月から11年2月までの予定で富山市に来ました。

日本に来てたくさんの人たちとお会いしたり、富山市の美しい景色などを見学したりすることを通して日本の文化や風習、また、日本人の暮らしなどをわずかながら理解することができました。

このような中から日本の皆様の中国人民に対する温かい友情を目のあたりに感じました。

富山に滞在中は、もっと頑張りいろいろ体験し、帰国してから微力ですが両市の友好交流に力を尽したいと思います。

協会で、みなさんとお友達になれたらうれしいです。



お知らせ

新春のつどい

～富山在住の外国の人たちと1999年も希望に満ちた年であることを一緒に祈して交歓会～

- ・と き 2月6日(土) 13:00～15:00
- ・ところ 富山駅前CICビル5階 多目的ホール
- ・会 費 外国人 1,000円 日本人 2,000円
- ・定 員 外国人60名 日本人60名

国際ボランティア入門講座

～あなたにできる国際交流探し～

あなたができることを活かせるボランティアがきっとあります。

第3回

- ・と き 1月10日(日) 13:00～15:00
- ・ところ 当センター
- ・協 力 アジアの仲間たちの会
- ・内 容 とやまにも活動をしている人がたくさんいます。あなたが活かせる場所が見つかるかもしれませんよ。

第4回

- ・と き 2月14日(日) 13:00～15:00
- ・ところ 当センター
- ・協 力 日本語教師、文化交流に努める方など
- ・内 容 あなたの得意なこと、興味のあることは何ですか。気軽にあなたのパワーをボランティアにつかってみませんか。

※ 第1回講座、第2回講座については当TCA-NEWS-(P.5)に掲載してあります。

国際交流カレッジ 12月1日 当センター

「国際人の感覚について」

講師 岩崎康昌氏

(財)世界経済情報サービス 審議役

ながい海外滞在の中で、特にアメリカ経済に精通されており、アメリカ社会における企業、経済動向、移民の受入れから、ボランティアまでを日本社会と比較しながら解かりやすく講演されました。ボランティアの意識の違いは、日本社会は大半が行政によってすすめられている。アメリカは行政と愛でカバーするとも言われ、現実に愛(キリスト教)―全米のボランティア活動の資金のほとんどは教会を通じた寄付であるとのことでした。

総務企画委員会

申し込み・問い合わせは当協会へ
TEL42-1109 FAX42-3807

地図で歩く世界の旅

第2回

「アルゼンチン共和国」

- ・と き 1月24日(日) 13:30
- ・ところ 当センター
- ・あんない人

土居マリア シルビーナ アキコ

第3回

「バングラデシュ人民共和国」

- ・と き 2月28日(日) 13:30
- ・ところ 当センター
- ・あんない人

イスラム オバイドゥル

異文化を体験しませんか

座禅

- ・と き 2月20日(日) 11:00
- ・ところ 海岸寺(富山市梅沢町)

編集後記

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

富山市民国際交流協会も設立して5年を経過し、多くの人たちと交流を広げてきました。

ある交流会でバングラデシュの人が私の手に持っている小物入れを目敏く指差して目が笑っている。「ああ これ? バングラデシュのね フェアトレードで買ったの」と答えると「援助を、協力をアリガトウ」と握手をして来ました。そばにいた愛息のラフィちゃんも様子も解らないままに保育園で覚えた「アント(ありがとう)」と言っておじきをしました。なんとかわいい民間大使...! 感動しました。

こんな小さな事からも世界中に「アント(ありがとう)」の心が広がるよう、21世紀に向けてさらに国際理解と交流・協力を目指して、共生と相互理解を深めるために活動を進めていきましょう。では、今年もご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

フェアトレード：開発途上国の人々の経済的自立を目的として生産者が適正な賃金を得られるような貿易の形

広報委員長 岡田昌代